

	福島県		県中地域				須賀川・岩瀬地区				石川地区				田村地区			
	第25週	第24週	第25週		第24週		第25週		第24週		第25週		第24週		第25週		第24週	
	感染症動向	感染症動向	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報
インフルエンザ	22	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
咽頭結膜熱	54	50	7	3	3	0	7	1	2	0	0	2	0	0	0	0	1	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	136	134	13	0	6	0	6	0	6	0	0	0	0	7	0	0	0	0
感染性胃腸炎	321	323	97	36	78	37	89	16	67	12	0	8	0	6	8	12	11	19
水痘	18	21	0	2	5	3	0	1	4	1	0	0	1	2	0	1	0	0
手足口病	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伝染性紅斑	6	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
突発性発疹	29	31	6	0	5	1	4	0	1	0	0	0	0	1	2	0	4	0
ヘルパンギーナ	9	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性耳下腺炎	14	9	2	4	3	4	2	1	2	1	0	1	1	3	0	2	0	0
RSウイルス感染症	36	27	1	1	2	2	1	1	1	2	0	0	0	0	0	0	1	0
急性出血性結膜炎	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0		0		0
流行性角結膜炎	22	18	1	1	0	4	1	1	0	2		0		2		0		0

※平成30年1月1日より百日咳が全数把握疾患となりました。また、風しんの届出が「診断後7日以内」から「診断後直ちに」と変更になりました。
 ※平成30年5月1日より急性弛緩性麻痺が全数把握疾患となりました。

【感染症発生動向調査】 ※定点医療機関からの情報をもとに集計 【学校欠席者情報】 ※保育園、幼稚園、小中学校、高等学校の欠席者情報です。

県中地域の状況

〈咽頭結膜熱の小流行が続いています〉

アデノウイルスの感染により、38~39度台の発熱、のどの痛み、結膜炎といった症状を引き起こす、小児に多い病気です。プールでの接触やタオルの共用により感染することもあるので「プール熱」と呼ばれることもあります。プールからあがったときは、シャワーを浴び、うがいし衛生を保つようにしましょう。患者とのタオルの共用など綿密な接触は避けましょう。

〈A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の小流行が続いています〉

A群レンサ球菌による上気道の感染症です。菌の侵入部位や組織によって多彩な臨床症状を引き起こします。感染経路は飛沫感染、接触感染です。

〈感染性胃腸炎が流行しています〉

食品や飲料水をとおり経口的に細菌、ウイルスなどの病原体が腸に感染してさまざまな消化器症状を引き起こす病気です。

※飛沫感染：患者の咳やくしゃみのしぶきに含まれる細菌を吸い込むことで感染します。マスクの着用や咳エチケットを実施してください。

※接触感染：細菌が付着した手で口や鼻に触れることで感染します。手洗い、うがい、頻繁に人が触れる場所(ドアノブ等)についての環境整備など基本的な対策を徹底することが必要です。

嘔吐物の処理について

県中では感染性胃腸炎が流行しています。嘔吐や下痢を引き起こすウイルスとしてよく知られているノロウイルスは非常に感染力が強く、100個以下の少量のウイルスでも、人に感染し発病します。患者の便や嘔吐物には1gあたり100万から10億個もの大量のウイルスが含まれています。感染を予防するには、基本的な手洗い等の手指衛生、嘔吐物等の適切な処理が必要です。

○嘔吐物処理時の注意事項

- ・嘔吐物の処理を行う際は、必ず窓を開け十分な換気を行いましょ。
- ・処理を行う職員以外は立ち寄らないようにしましょう。
- ・迅速かつ正確な処理方法で対応しましょう。
- ・処理用キットを準備しておき、必要時に迅速に処理できるように備えましょう。

○処理用キット

- ・使い捨て手袋
- ・マスク
- ・使い捨て布
- ・次亜塩素酸ナトリウム
- ・その他必要な物品
- ・ビニールエプロン
- ・ペーパータオル
- ・ビニール袋



出典：厚生労働省ホームページ掲載
 高齢者介護施設における
 感染対策マニュアルより抜粋

○処理の手順

- ①まず、手袋・ビニールエプロンを着用します。
- ②嘔吐物をぬらしたペーパータオルや使い捨ての布で覆います。
- ③使用する消毒液(0.5%)次亜塩素酸アトリウムを作ります。
- ④ペーパータオルを外側からおさえて、嘔吐物を中央に集めるようにしてビニール袋に入れます。さらにもう一度、ぬれたペーパータオルで拭きます。
 ※ペーパータオルで覆った後に、次亜塩素酸ナトリウム液(0.5%)を上からかけて、嘔吐物を周囲から集めて拭き取る方法もあります。
- ⑤消毒液でゆるく絞った使い捨ての布で床を広めに拭きます。これを2回行います。拭いた布はビニール袋に入れます。
- ⑥床を拭き終わったら手袋を新しいものに変えます。その時、使用していた側が内側になるようにはずし、服や身体に触れないように注意しながら、すばやくビニール袋に入れます。
- ⑦①~⑥の嘔吐物を処理したペーパーや使い捨ての布はビニール袋に入れて密封し汚物処理室へ運び感染性廃棄物として処理します。

